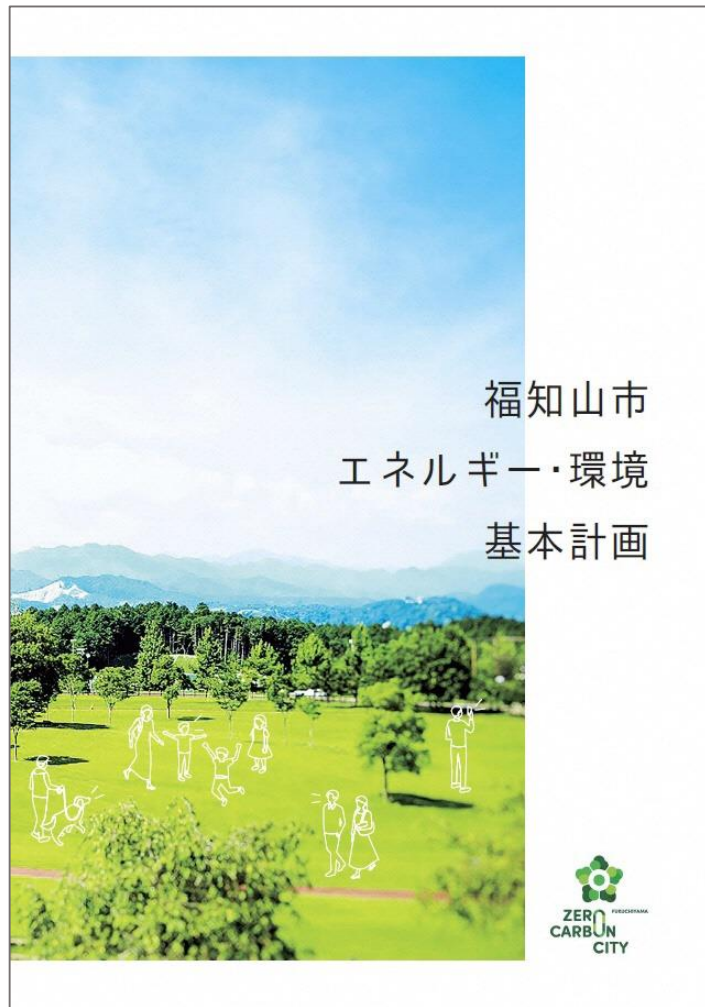
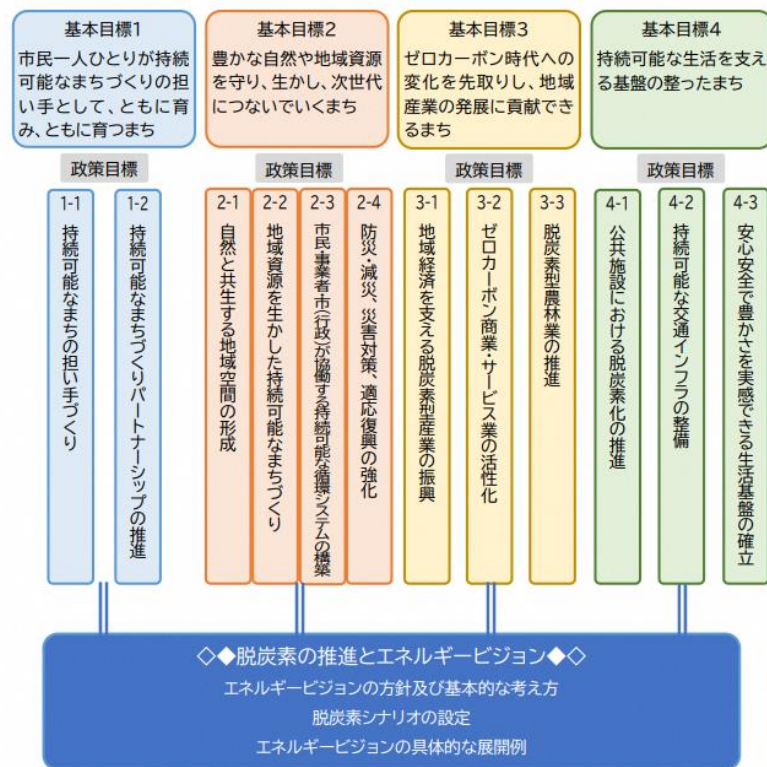


福知山市持続可能なエネルギー・環境共創 プラットフォームについて【抜粋版】

2023年(令和5年)3月 温暖化対策実行計画(区域施策編)を包含した
「福知山市エネルギー・環境基本計画」策定



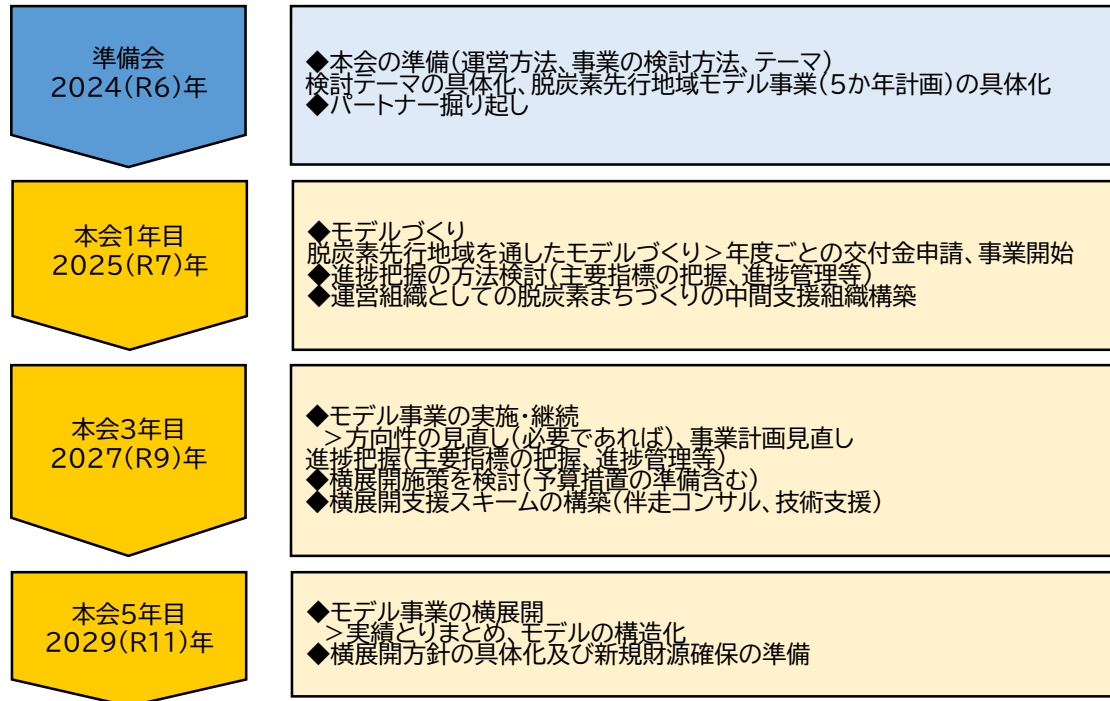
- 第1章 エネルギー・環境基本計画について
- 第2章 現状と課題
- 第3章 環境将来像
- 第4章 基本目標ごとの取組
- 第5章 脱炭素の推進とエネルギービジョン
- 第6章 推進体制



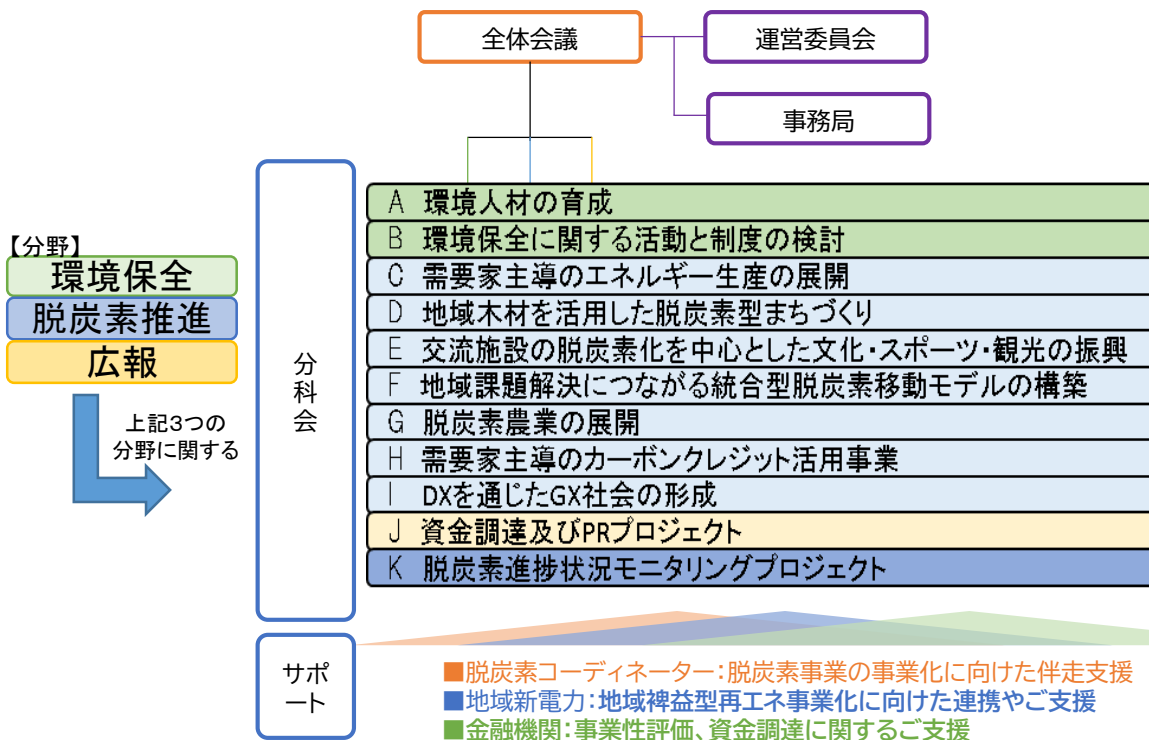
プラットフォームについて

1 プラットフォームで進めること

計画に定めた取組について、事業者、大学、金融機関等のメンバーで具体的な実施方法を検討し、実際に**事業化することを目指します**。プラットフォームの中では、取組テーマごとに分科会を作り、大学の研究機能や脱炭素に関わる専門家等の伴走支援を受けながら、**脱炭素の先行モデルを具体化**し実施するとともに、新しい技術の社会実装や脱炭素の取組を市域で面的に拡大する方法を検討します。加えて、市域における脱炭素の進捗具合の調査・把握も行います。



福知山市持続可能なエネルギー・環境共創プラットフォーム



- 【分野】
- 環境保全
 - 脱炭素推進
 - 広報

上記3つの分野に関する

【運営委員会・事務局ですること】

- ・プラットフォームの運営
- ・各分科会での取組実績集約及び進捗管理
- ・複数の分科会での連携事業の調整 (脱炭素先行地域づくり制度を活用したモデルづくりなど)
- ・全体広報の調整

【分科会ですること】

- ・具体的な事業化検討
- ・事業スケジュールの決定
- ・事業費の見積や調達方法の検討
- ・国、府の補助取得申請 (脱炭素先行地域など複数の分科会をまたぐ申請の場合は分科会ごとにとりまとめを行い、申請手続きを行う)
- ・事業性の評価

別施策との連携

(例えば)

- 農業振興施策
 - 地域スポーツ施策
 - 交流拠点構築施策
 - 子育て・教育施策
 - 文化施設構築施策
- (※あくまで例えばです)

脱炭素先行地域づくり・重点対策加速促進事業などは分科会の枠を超えて、各分科会が連携して提案内容を作る予定です

計画を進めるロードマップ

事業区分	(1) 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	重点対策加速化事業	(2) 特定地域脱炭素移行加速化交付金(GX)
交付要件	○脱炭素先行地域に選定されていること (一定の地域で民生部門の電力消費に伴うCO2排出削減率を達成)	○再エネ発電設備を一定以上導入すること (都道府県・指定都市・中核市・施行特別市：1MW以上、その他の市町村：0.5MW以上)	○脱炭素先行地域に選定されていること
対象事業	1) CO2排出削減に向けた設備導入事業 (1は必須) ①再エネ設備設備 (自家消費型、地域共生・地域神益型) 地域共生型再エネ設備の導入 ・再エネ発電設備：太陽光、風力、中小水力、バイオマス等(公共施設への太陽光発電設備導入はPPA等に限る) ・再エネ熱利用設備/未利用熱利用設備：地中熱、温泉熱等 ②基礎インフラ設備 地域再エネ導入・利用最大化のための基礎インフラ設備の導入 ・自営線、熱導管 ・蓄電池、充放電設備 ・再エネ車庫・充電設備 ・エネマネシステム等 ③省CO2等設備設備 地域再エネ導入・利用最大化のための省CO2等設備の導入 ・ZEH・ZEH+、断熱改修 ・LED照明・省エネ器具(電動機、充放電設備等) ・その他省CO2設備(高効率換気・空調、コージェネ等) 2) 効果促進事業 1) 「CO2排出削減に向けた設備導入事業」と一体となって設備導入の効果を一層高めるソフト事業等	①～③のうち2つ以上を実施 (1又は2は必須) ①屋根置きなど自家消費型の太陽光発電設備を設置する事業 ※住宅の屋根等に自家消費型太陽光発電設備を設置する事業 ※公共施設への太陽光発電設備導入はPPA等に限る ②地域共生・地域神益型再エネの立地 (例：未利用地、ため池、廃棄物最終処分場等を活用し、再エネ設備を設置する事業) ③農林ビル等における徹底した省エネと改修時等のZEH化誘導 (例：新築・改修予定の農林ビル等において省エネ設備を大規模に導入する事業) ④住宅・建築物の省エネ性能等の向上 (例：ZEH、ZEH+、段階住宅改修補助事業) ⑤ゼロカーボン・ドライブ (例：地域住民のEV購入支援事業、EV公用車を活用したカーシェアリング事業) ※再エネとゼロカーボン等導入する場合は併用	民間神益型自営線マイクログリッド等事業 官民連携により民間事業者が神益する自営線マイクログリッドを構築する地域等において、温室効果ガス排出削減効果の高い再エネ・省エネ・蓄エネ設備等の導入を支援する。
交付率	原則 2/3	2/3～1/3、定額	原則 2/3
事業期間	おおむね5年程度		
備考	○複数年度にわたる交付金事業計画の策定・提出が必要(計画に位置づいた事業は年度間調整及び事業間調整が可能) ○交付金事業について、3年度目に中間評価を実施 ○各種設備設備・導入に係る調査・設計等や設備設置に伴う付帯設備等は対象に含む		



～2030年
全域展開

2025年～2029年
モデルづくり

→産官学金連携でモデル事業を構築する

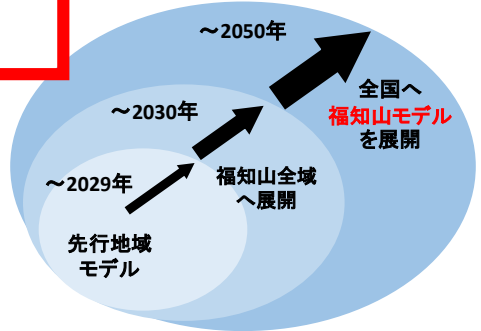
- 「脱炭素先行地域づくり制度」など国庫補助を活用したモデルづくり
- 重点対策加速化事業の実施
- 再エネ等の促進区域設定

2024年～
集積

- プラットフォームの組成
- 連続研修プログラム
- 事業創出プログラム

2023年～
気運醸成

- 新たな計画の策定
- 啓発イベントや課題感の共有
- 行政による先行的な取組実施など



プラットフォームの取組みについて

『A/B分科会』環境人材の育成

福知山市持続可能なエネルギー・環境共創プラットフォーム

【分野】

- 環境保全
- 脱炭素推進
- 広報

上記3つの分野に関する

分科会

- A 環境人材の育成**
- B 環境保全に関する活動と制度の検討**
- C 需要家主導のエネルギー生産の展開
- D 地域木材を活用した脱炭素型まちづくり
- E 交流施設の脱炭素化を中心とした文化・スポーツ・観光の振興
- F 地域課題解決につながる統合型脱炭素移動モデルの構築
- G 脱炭素農業の展開
- H 需要家主導のカーボンクレジット活用事業
- I DXを通じたGX社会の形成
- J 資金調達及びPRプロジェクト
- K 脱炭素進捗状況モニタリングプロジェクト

○福知山環境会議から引き継いだ活動を中心に、環境保全や環境人材の育成に関する活動が進行中

- ①生ごみの堆肥化によるごみの減量
- ②ゴーヤ配布によるみどりのカーテン普及
- ③公立大学生による由良川整備活動
- ④脱炭素を学ぶ！生涯学習連続講座
- ⑤ツバメ調査・ホタル調査による生物多様性保全に関する活動

婦人会主催の「脱炭素を学ぶ！生涯学習連続講座」や竹パウダーを活用した堆肥化講習会の実施、自然科学協力員会様による水生生物調査などを実施しました。



ゴーヤ苗配布@三和分校



生ごみ堆肥づくり講習会(上)
【新】竹パウダーを活用した堆肥化講習会(下)

～京都府地域交響プロジェクト交付金事業～

脱炭素を学ぶ！生涯学習連続講座

本講座において、福知山市連合婦人会では、京都府地域交響プロジェクト交付金を活用して脱炭素を学ぶ生涯学習連続講座を開催いたします。本事業では、「わたしたちができる小さな変化」から「だれもが住みよい福知山市」をテーマとして、生活の中で出来る脱炭素の動きを知り、学び、実行することを目指しています。

**脱炭素って難しそう・・・
再エネ？自分には関係ないかも・・・**

そう思っている方にぜひ参加して頂いて欲しい講座です。脱炭素って、再エネって、こんなにも生活に関わっているものなんだと気づかせるはずです！

全て参加できなくてもOK！お気楽にお申込みください！
(各回先着です。お申込みはお早め！)

- 第1回** 『省エネで快適に健康に暮らす～身近なところから始める温暖化対策～』
 日程 2025年11月10日(月) 午後2時～午後4時
 講師 川野 美穂 京都府環境政策推進センター 事務局長
 講師 坪井 浩一 2期 研修生 (福知山市教員20名参加)
- 第2回** 『こどもたちの未来のために いまやることは？』
 日程 2025年11月28日(金) 午後2時～午後4時
 講師 木原 浩典 長らくらぶ(株)代表取締役 環境副社長 福知山環境政策推進センター 事務局長
 講師 坪井 浩一 2期 研修生 (福知山市教員20名参加)
- 第3回** 『広げよう再エネ！現状の課題とリサイクル現場から』
 日程 2025年12月14日(日) 午後2時～午後4時
 講師 山崎 貴氏、田嶋 昭二氏、杉田 仁貴氏 (沼津電機送電株式会社)
 川野 美穂 長らくらぶ(株)代表取締役 環境副社長 福知山環境政策推進センター 事務局長
 中野 文彦 アサヒパルチマ 3期 研修生2名 (福知山市教員40名)

【新】脱炭素を学ぶ！
生涯学習連続講座



小学校での水生生物調査



公立大との
ネイチャーアクティビティ

『C分科会』需要家主導のエネルギー生産の展開

福知山市持続可能なエネルギー・環境共創プラットフォーム

【分野】

- 環境保全
- 脱炭素推進
- 広報

上記3つの分野に関する

分科会

- A 環境人材の育成
- B 環境保全に関する活動と制度の検討
- C 需要家主導のエネルギー生産の展開**
- D 地域木材を活用した脱炭素型まちづくり
- E 交流施設の脱炭素化を中心とした文化・スポーツ・観光の振興
- F 地域課題解決につながる統合型脱炭素移動モデルの構築
- G 脱炭素農業の展開
- H 需要家主導のカーボンクレジット活用事業
- I DXを通じたGX社会の形成
- J 資金調達及びPRプロジェクト
- K 脱炭素進捗状況モニタリングプロジェクト

- 遊休地、遊休農地を活用した大規模太陽光発電事業3案件が同時に進行中
- ①今安農地でのソーラーシェアリング
- ②稚児野台を活用したメガソーラー(2MW)

■公共主導で施設のZEB化や断熱改修を進めるとともに、再生可能エネルギーの率先導入、また新しい技術の率先導入をして持続可能な施設とするとともに固定費の削減を目指します。



今安の太陽光パネルの下で栽培された「キクラゲ」はアレルギーフリーの植物性たまごパウダーの材料となり全国に届けられる予定です。

食の脱炭素化と誰もが食べられる食材づくりの活動に取組みます。

アレルギーフリー 植物性たまごパウダー
これまでにない新しい選択肢
UMAMI EGG

- Allergie Free**
安心と安全
特定原材料
28品目不使用
- Deli**
オムライスや
たまごサンドなど
卵料理の素材に
- Bakery**
バサつかず
風味と色彩豊かな
仕上がり

日本の旨味・UMAMI・素材を活かして
-ONE TABLEで未来を創る-



『C分科会』需要家主導のエネルギー生産の展開

株式会社ヨネダさまがZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の積極的な普及に取り組まれています。令和7年10月にはZEH普及啓発に関するイベントを分譲地にて開催され、建築途中の住宅内部を見せながら、効果などを参加者に対して説明されました。

**平屋を建てたいけど…
こんなお悩みありませんか?**

- 部屋が暗くならない? → フライバシーや防犯は大丈夫?
- 土地が狭くても平屋は建てられる?
- 2階建てより建築費が高くない?
- 子育てや将来の暮らしに合う?

安全予約制

気になること、お気軽にご相談ください!

2025 10/18 土
10:00~16:00
冬・晴間道駅前
場所: 福知山市場 (ガーデンプレイス側)

平屋の魅力

- ① 階段のない、ラクな暮らし
- ② 家族を近くに感じるツナガリ
- ③ 庭とつながる開放感
- ④ 将来も安心のバリアフリー設計
- ⑤ メンテナンス費用も抑えられる住まい

福知山市参加!
エネルギー・環境戦略がZEH・省エネ資料を配布します!!

株式会社ヨネダ 住宅事業部 本社
TEL 0120-406-217



ZEHは**断熱性能**が高くエネルギーロスが少ないうえ、太陽光パネルで発電した電気をうまく活用するなど、経済的にメリットが大きく、また、室内の温度差が小さくなることで、**ヒートショック事故を防止**するなど、身体的にもメリットが大きいことを説明されました。

本市としてもZEHの推進は省エネ、健康的な生活につながり、地球温暖化防止にもつながるため、ヨネダ様とともに啓発を行いました。

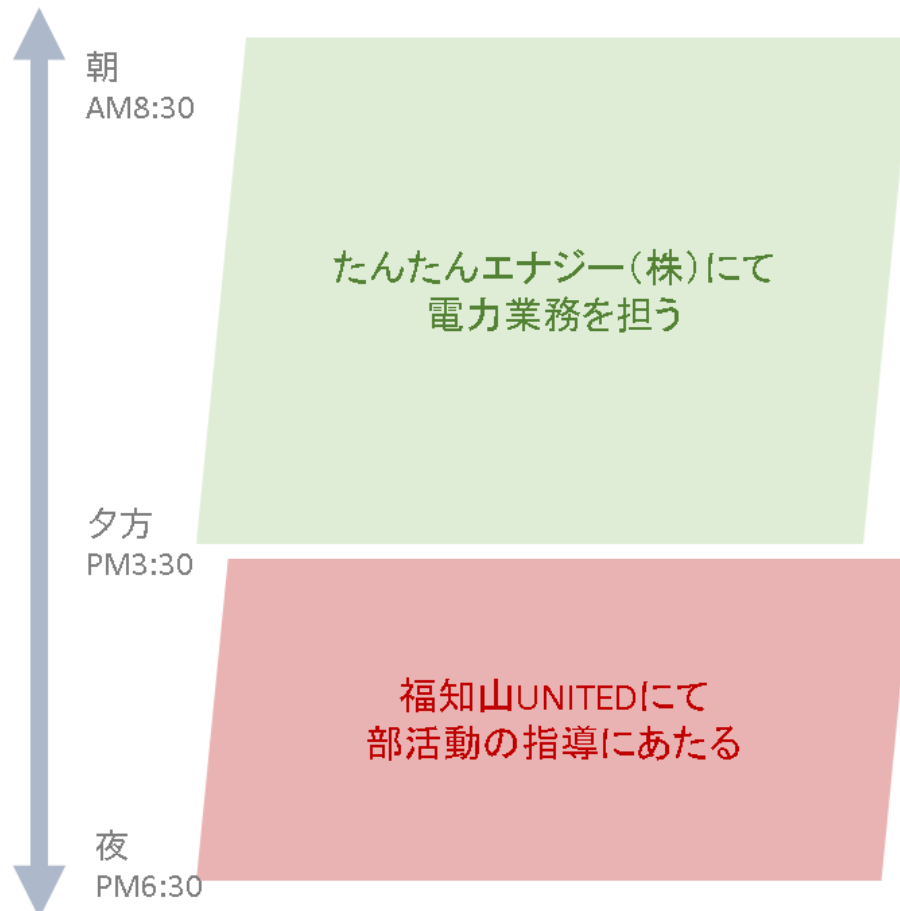
令和8年1月には福知山市堀の分譲地にてZEH(断熱)性能を肌で感じられる完成見学会が実施されました。

『E分科会』交流施設の脱炭素化

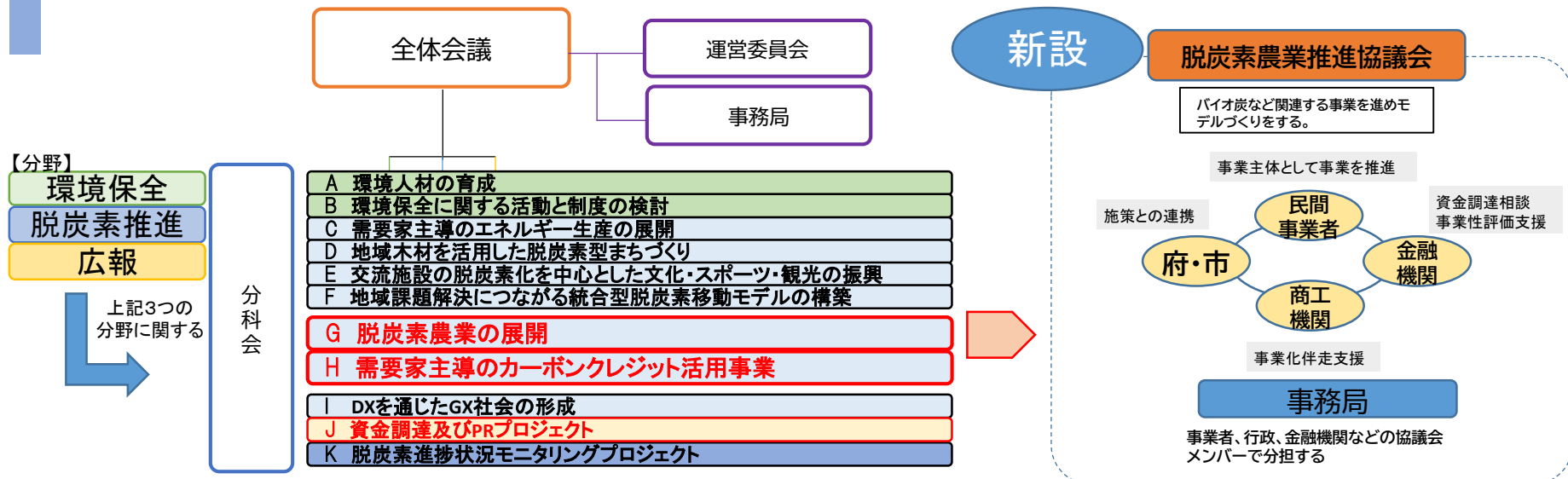
交流施設の脱炭素化を中心とした文化・スポーツ・観光の振興

部活動の地域移行の取組を行っている民間スポーツクラブ(福知山ユナイテッド)を、地域新電力会社がサポートする取組がスタートしています。部活動指導者の収入確保のため、昼間は地域新電力会社で働き、夕方からは部活動指導に専念できる環境づくりに取り組んでいます。

福知山ユナイテッド様とオフィシャルパートナー契約増額更新



『G/H分科会』脱炭素農業推進協議会の設立と 森林カーボンクレジットの認証取得準備



バイオ炭活用のモデルづくりのため協議会を組成し、検討を進めています。
循環型森林整備により森林資源をうまく活用し、新たな財源の確保に向け動き出しています。



バイオ炭



現地調査した市保有林の様子

○市が保有する森林
○民間事業者2者が保有・管理する森林
→クレジットの創出が見込める森林を調査

■福知山市分：約440 t-CO₂/年
■売却益：約230万円/年

※東京証券取引所の取引相場で概算
※手続きに係る手数料は別途必要